

第一応援歌

新生の息吹

今回の調査は意外に知られていない応援歌「新生の息吹」についてです。探偵君が、応援団の方にインタビューしてきてくれました！

1 「新生の息吹」について教えてください。

この歌は昭和33年に「京都大学オリジナルの応援歌を作ろう」という動きの下、一般公募によってできた歌です。作曲の多田武彦^{ただ たけひこ}さんは法学部卒業の社会人、作詞の中川裕朗^{なかがわひろあき}さんは法学部の大学院生でした。中川さんは、通学途中などにふと思いついたフレーズを歌詞にしたそうです。

京都大学への熱い思いが込められた「新生の息吹」は、作られて以来ずっと京都大学を代表する応援歌となっており、演舞では必ず一番に歌います。

ちなみに「新生の息吹」の他には京大の風景を歌った第二応援歌「花の香薫りぬ」、スクールカラーを歌った第三応援歌「ダークブルー海の碧^{あお}」があります。

現在は「新生の息吹」を歌うのは主に体育会の部を応援するときや11月祭前夜祭などの演舞のときです。応援団内では、コンパの締めにもみんなで輪になって歌ったりもしますけど。

やっとの思いで試合に勝ったときに「新生の息吹」を歌うのは、最高に気持ちが良くて忘れられない思い出になります。



2 京大生へのメッセージをお願いします。

昔は「新生の息吹」の知名度は高かったんですよ。新入生向けの歌の練習会が行われていましたし、積極的に「歌いたい」と思う学生が多かったようです。

でも、今は歌えない人の方が多いですね。「新生の息吹」は、京大生が作った京大を代表する勝利の応援歌なので、ぜひ多くの人にこの歌を知ってもらいたいです。覚えやすい曲だと思いますから。

……できることなら、京大生全員で大合唱、なんてしてみたいですね。きつととても気持ちが良いと思います。



残念なのは、あまり「新生の息吹」を聞いてもらう機会がないことです。でも機会が少ないからこそ、私たちは1回1回の演舞を真剣に精一杯行っています。一度耳にただけで、この歌を覚えてもらえるようにと思っています。

今後は、卒業式、入学式、紅崩祭^{こうほうさい}などで演舞を行う予定です。演舞を見かけた際にはぜひ、足を止めて耳を傾けてください。

第一応援歌「新生の息吹」

1. 新生の息吹きに充ちて 息吹きに充ちて
躍動の若き腕に 勝利分たん
守れ 守れ 守れ 母校の荣誉
京都大学 京都大学
2. 麗しき吉田の里に 吉田の里に
幾星霜^{いくせいそう}鍛えし力 ここに尽さん
示せ 示せ 示せ 母校の伝統
京都大学 京都大学
3. 公明^{こうめい}の日輪のもと 日輪のもと
高鳴るは希望の凱歌 自由^{じゆう}の潮
たたえよ たたえよ たたえよ 不滅の光
京都大学 京都大学

パフェ「新生の息吹」

カフェテリアルネでは、歌にちなんだパフェ「新生の息吹」が販売されています。

応援団の方は「ぜひ一度は食べてほしい」とおっしゃっていました。

定価1,000円（税込）

